

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
 なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
 弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

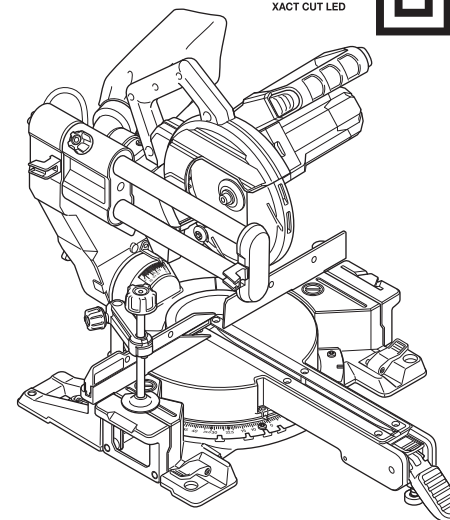
HIKOKI

取扱説明書

卓上スライド丸のこ

190 mm C 7FSC [LED シャドーライト付]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
 ありがとうございました。
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
 正しく安全にお使いください。
 お読みになった後は、いつでも見られる所に
 大切に保管してご利用ください。



はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	5
本製品の使用上のご注意	5
用途	7
各部の名称	7
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	9

使い方

ご使用前の準備	10
のこ刃の取付け (交換)	13
ご使用前の点検	15
スイッチの操作	17
LED シャドーライトの使い方	17
ダストバッグの使い方	18
拡張テーブルの使い方	18
直角および傾斜ストップ位置の 確認と調整	19
バイス装置の使い方	20
切断作業の基本	21
傾斜切断	23
角度切断	25
複合 (角度 + 傾斜) 切断	26
いろいろな切断	27

その他

保守・点検	29
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使わないでください。

⚠警告

- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 大形の電動工具で行う作業には、小形の電動工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⚠警告

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り (OFF)、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

電動工具が作動して、けがの原因になります。

⑯ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑳ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

㉑ アスベスト (石綿) 周辺の環境下 (除去作業を含む) で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠警告

㉒ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した部品の交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

㉓ 指定の付属品や別売部品を使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

㉔ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の人へ、電動工具の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- 電動工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- アスベスト (石綿) 周辺の環境下 (除去作業を含む) で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付けできません。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に **回** マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違えて組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、卓上スライド丸のこについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源やエンジン発電機、変圧器などの電源で 사용하지 しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 保護カバーを固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。
- ④ のこ刃は、外径 184～190 mm の物を使用してください。
保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ⑤ 切断中に、材料の重みでのこ刃が挟み付けられないように、切断する材料の受け台を設けてください。
- ⑥ 使用中は、のこ刃や回転部および切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
- ⑦ スライド切断作業は押し切りで行ってください。
手前に引きながらスライド切断をすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑧ ヘッド部を押し下げるときは、ターンテーブルや材料の上に手を置かないでください。
のこ刃が手に近づき、けがの原因になります。
- ⑨ 切断作業時は作業者以外、作業場へ近づけないでください。
のこ刃に材料が巻き込まれて周囲に飛散した場合など、けがの原因になります。
- ⑩ 金属系サイディングボードなど用途以外の材料を切断しないでください。
金属の切りくずが周囲に飛散し、火災やけがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑪ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑫ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
- ⑤ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑥ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に載せたまま作業しないでください。
けがや、コードを切断し感電の恐れがあります。
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑧ LED シャドーライトの光を目に当てないでください。

⚠ 警告マークについて

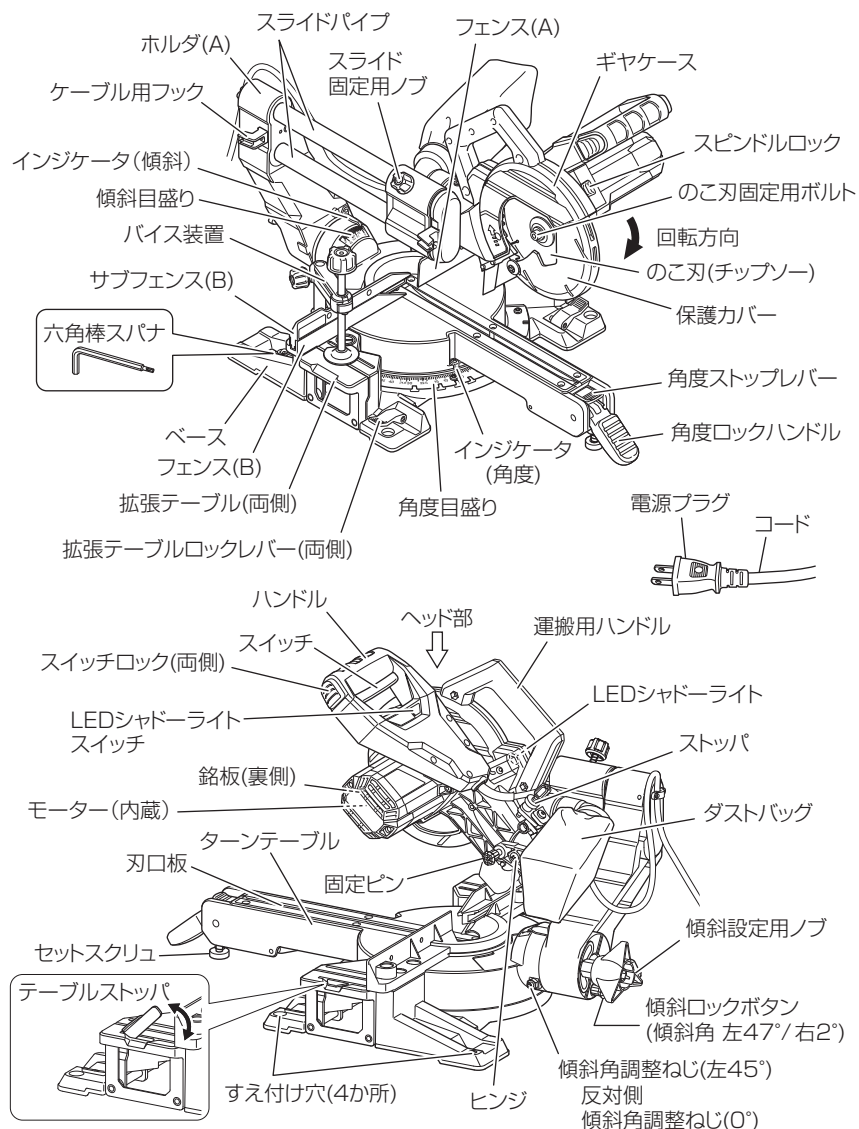


このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り (OFF)、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグをコンセントにさしたまま準備や点検、のこ刃の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

用 途

- 各種木材の切断
- 各種合板、化粧板、軟質繊維板、ハードボード等の切断
- アルミサッシの切断

各部の名称

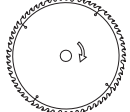
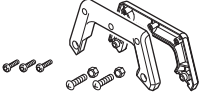
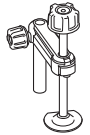


仕 様

形 名	C 7FSC	
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
全 負 荷 電 流	11 A	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
使用できるのこ刃	外径 184～190 mm × 穴径 20 mm	
無 負 荷 回 転 数	5,000 min ⁻¹ {回/分}	
最大切断寸法 (最大高さ × 最大幅)	のこ刃左45°傾斜 38×305 40×285 (当て板幅20)※ のこ刃傾斜0°(直角) 51×305 60×285 (当て板幅20)※ のこ刃左45°傾斜 38×213 40×195 (当て板幅20)※ のこ刃傾斜0°(直角) 51×213 60×195 (当て板幅20)※	
角 度 切 断 範 囲	左 0°～50°	右 0°～50°
傾 斜 切 断 範 囲	左 0°～47°	右 0°～2°
複 合 切 断 範 囲	左傾斜0°～47°	左右回転0°～50°
	右傾斜0°～2°	左右回転0°～50°
質 量	15.4 kg	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 4.5 m	

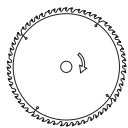
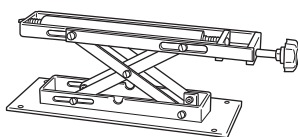
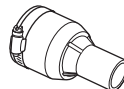
※印の最大切断寸法の場合、ヘッド部底面と材料が接触する恐れがありますので十分注意し作業をしてください。

標準付属品

190 mm チップソー (刃数 60)		1 枚	ダストバッグ エルボ		1 組
運搬用ハンドル		1 組	バイス装置		1 組
六角棒スパナ •六角+ヘクサロビュラ •六角+プラス		各 1 個			

別売部品 (別売部品は生産を打ち切っている場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

のこ刃 (チップソー) 各種取りそろえております。 用途に応じてお選びください。 	電動工具用集じん機、木工用集じん機 各種集じん機に接続して使用することができます。
卓上丸のこ用補助ローラ 高さ：50～60 mm 最大荷重：150 kg 	警告 アルミ材を切断する場合は、集じん機を使用しないでください。 切断時の切り粉により、集じん機が発煙、発火する恐れがあります。
集じんアダプタ 集じん機との接続に使用します。 	注 本製品を連動コンセント付き集じん機と連動させて使用する場合は、消費電力 1,050 W 以上に対応した集じん機を使用してください。

ご使用前の準備

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になる必要があります。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。
しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

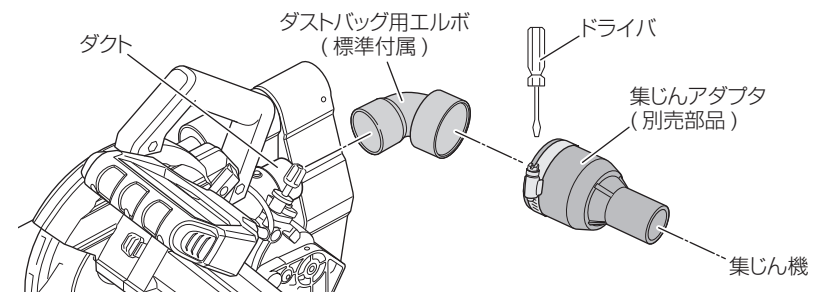
これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

●集じん機 (別売) の接続

接続には、別売の集じんアダプタとダストバッグ用のエルボ (標準付属) を使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、弊社ホームページ、または総合カタログでご確認ください。



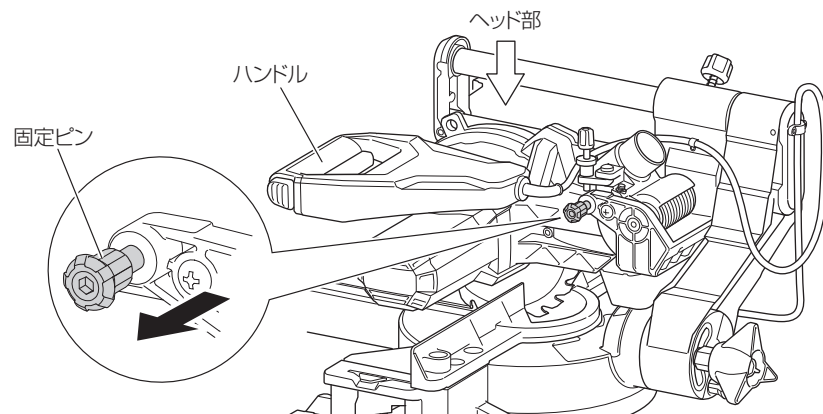
●固定ピンの解除

工場出荷時には、ヘッド部を固定ピンで固定してあります。

使用前に、固定ピンを矢印方向に抜いてください。

固定ピンは、ハンドルを少し下げながら操作すると簡単に抜きさしできます。

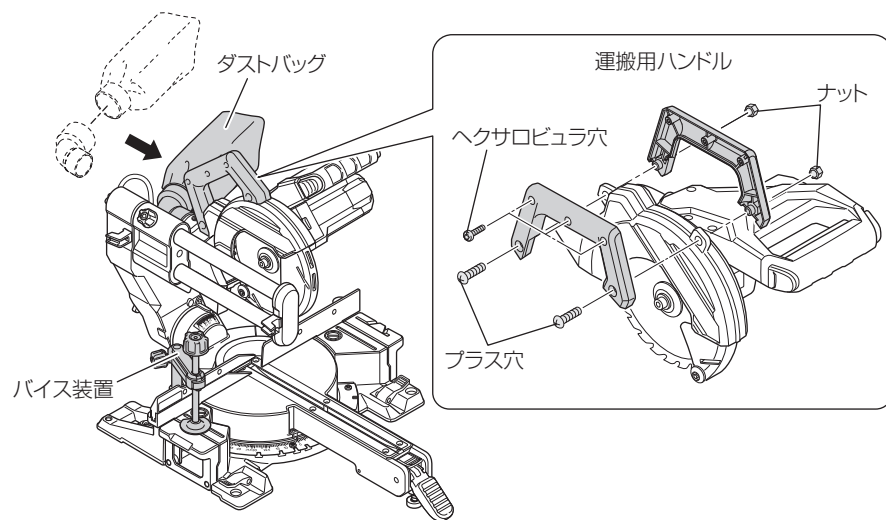
運搬するときは、ヘッド部を固定するためハンドルを押し下げ、固定ピンをさし込みます。



●付属品の取付け

付属の運搬用ハンドル、ダストバッグ、バイス装置は下図のように取付けてください。

注 運搬用ハンドルの各ねじは、しっかりと締付けてください。



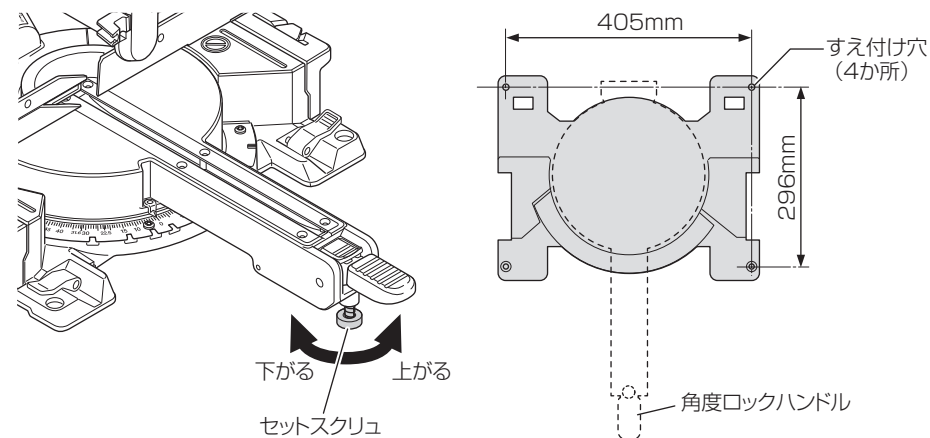
●卓上丸のこのすえ付け

傾斜のない平たんな場所へ、安定した状態にすえ付けます。

機体を作業台などにすえ付ける場合は、ベースのすえ付け穴 4 か所を使用してください。(下図参照)

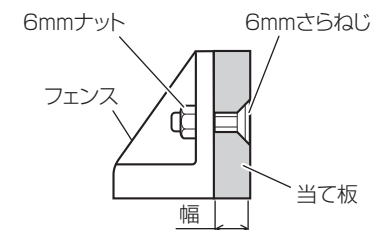
すえ付けには 8 mm ボルト、ナットを使用してください。

切断時ヘッド部を手前にスライドさせ、押し下げると機体がガタつく場合があります。セットスクリュを左右に回して、セットスクリュが床に軽く接触するように調整します。



●当て板の取付け

当て板を使用する場合は、フェンス面の 7 mm 穴 (左右のフェンス各 2 か所) を利用し、6 mm さらねじと、6 mm ナットで取付けます。





のこ刃の取付け (交換)



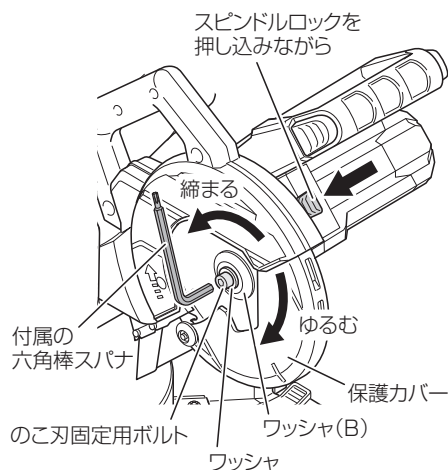
この作業時は必ずスイッチを切り (OFF)、電源プラグを抜いてください。

警告

- 付属の六角棒スパナ以外で、のこ刃固定用ボルトを着脱しないでください。
締めすぎや締付け不足になります。
- のこ刃の取付け後は、スピンドルロックが元の位置に戻っていることを確認してください。

のこ刃を交換する際は、以下の手順で行ってください。

- 1 スピンドルロックを押し込みながら、付属の六角棒スパナでのこ刃固定用ボルトをゆっくりと回転させると、のこ刃の回転が止まる位置があります。この状態で、スピンドル (のこ刃軸) が固定されます。この状態のまま、六角棒スパナを時計方向に回すと、のこ刃固定用ボルトがゆるみます。



- 2 のこ刃が落下しないように押さえながら、のこ刃固定用ボルト、ワッシャ、ワッシャ (B) を取りはずします。

- 3 保護カバーを持ち上げ、古いのこ刃を取りはずします。

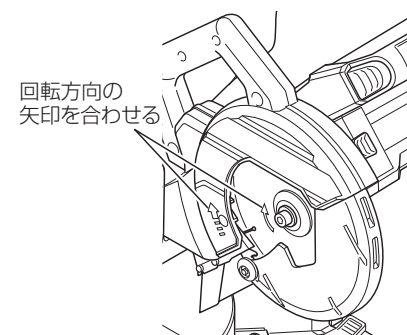
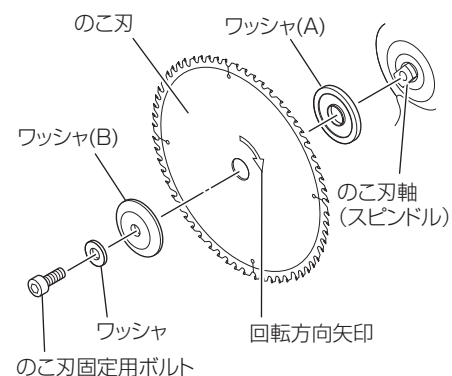
- 4 ワッシャ (A)、ワッシャ (B)、ワッシャ、のこ刃固定用ボルトに付いている切りくずをよく除去します。

- 5 各部品は右図のように取付けます。ワッシャ (B) は、のこ刃軸の二面幅に合わせて取付けてください。

注 のこ刃は矢印の方向が、ギヤケースの回転方向の矢印と同じになる向きで取付けてください。

- 6 スピンドルロックを押し込みながら付属の六角棒スパナで、のこ刃固定用ボルトを反時計方向に回すとボルトが締まります。

注 のこ刃取付け後、のこ刃の面振れを点検してください。
(P.15 ④ 参照)



ご使用前の点検

⚠ 警告

③ スピンドルロックや⑥ スイッチが元の位置に戻らない場合、⑤ 保護カバーが円滑に動かない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

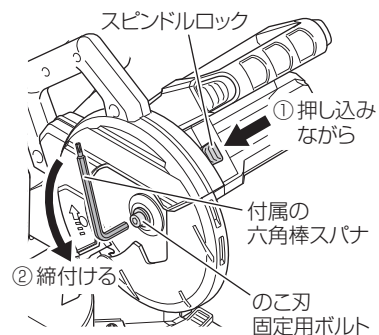
1 スイッチが切れていることを確認する

スイッチが入っているの知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

2 電源を確認する

銘板に表示してある電源で使用するください。

3 のこ刃の締付けを確認する

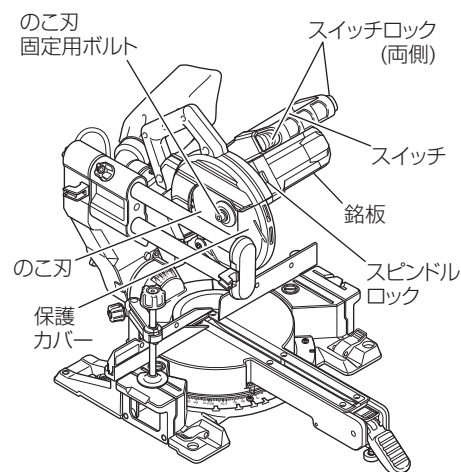


注 のこ刃を締付けた後、スピンドルロックが元の位置に戻っていることを確認してください。

4 のこ刃の面振れを点検する

スピンドルロックを押さずに、付属の六角棒スパナで、のこ刃固定用ボルトをスピンドル(のこ刃軸)端面から見て反時計方向に回し、面振れを点検してください。

注 面振れが大きいときは、P.13「のこ刃の取付け(交換)」を参照して、のこ刃、ワッシャ(A)、ワッシャ(B)、ワッシャ、のこ刃固定用ボルトに異物が挟まっていないかを確認してください。

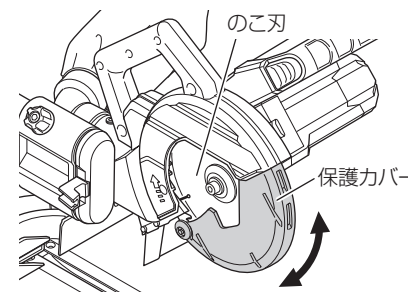


⚠ 警告

保護カバーは固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

5 保護カバーの動きを確認する

- 保護カバーは、のこ刃が体に触れることを防ぎます。この保護カバーが円滑に動かないまま使用したり、取りはずして使用することは法律で禁じられています。
- のこ刃をおおるように円滑に動くことを確認してください。
- 保護カバーに切りくずなどが付着して、のこ刃先が見にくくなったときは、布などでふき取ってください。



6 スイッチの動きを確認する

スイッチを引きます。はなした後、スイッチが元の位置に戻ることを確認してください。

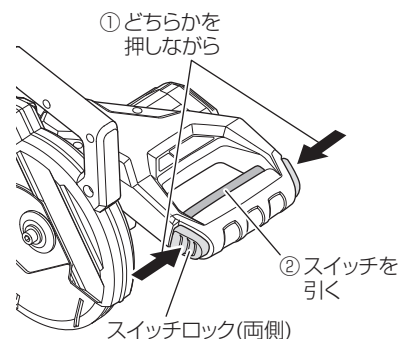
7 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜ける場合は修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店に相談してください。

スイッチの操作

スイッチロックのどちらかを矢印の方向に押しながらスイッチを引くと、のこ刃が回転します。

スイッチロックをはなしても、スイッチを引いていれば、のこ刃は回転を続けます。



LED シャドーライトの使い方

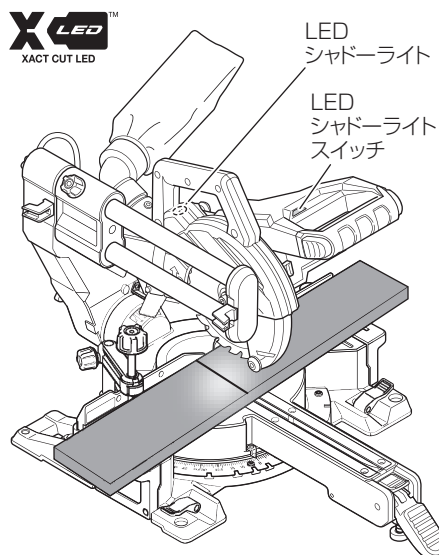
LED シャドーライト [XACT CUT LED™] 機能は、刃物の影を材料に投影させます。これにより、切断精度を向上させます。なお、ライトの位置調整は不要です。

警告

LED シャドーライトが点灯している間は通電状態ですので、スイッチに指を掛けしないでください。
のこ刃が回転する恐れがあります。

1 LED シャドーライトスイッチを押すたびに、点灯/消灯が切り替わります。

2 材料から、5 mm 程度上方にのこ刃先端が位置するようにヘッド部を押し下げます。のこ刃の影が材料に投影され、切断時に刃先が材料に接触する位置が示されます。
のこ刃の影と墨線を合わせて、切断作業を行ってください。
(P.21「墨線の合わせ方」参照)



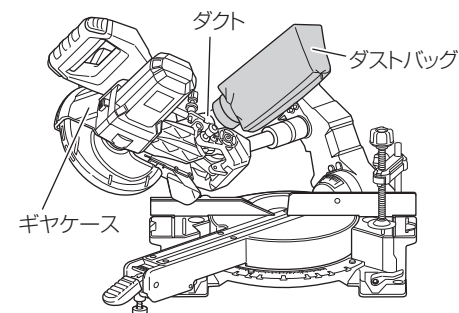
ダストバッグの使い方

注 • 傾斜切断の場合は、切りくずが詰まりやすくなり、ダクト、ギヤケース内に切りくずが詰まる場合があります。早めにダストバッグから切りくずを取り除いてください。

• 木材加工後にアルミサッシを切断するときは、ダストバッグ内の切りくずを捨ててから作業してください。

ダストバッグ内に切りくずが一杯になると、手前に切りくずが飛散します。

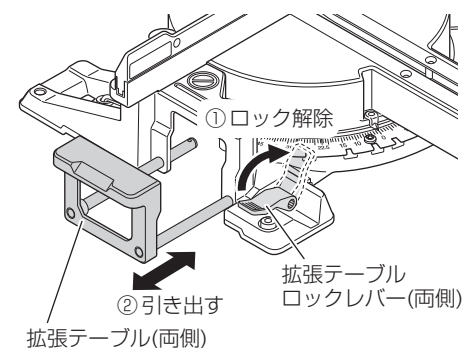
一杯になる前にダストバッグから切りくずを取り除いてください。



拡張テーブルの使い方

拡張テーブルは長い切断材料を安定させる物です。

拡張テーブルロックレバーで固定します。



⚠ 直角および傾斜ストップ位置の確認と調整

⚠ 警告

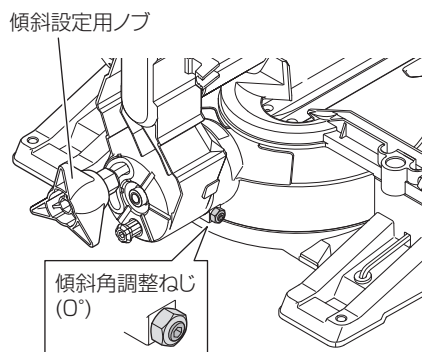
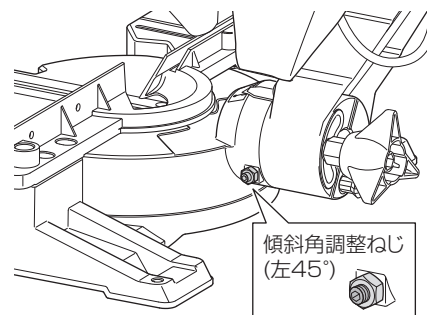
調整の際は、サブフェンス (B) とバイス装置を取りはずしてください。

工場出荷時は、ヘッド部が 0° (直角)、左傾斜 45° で止まるように調整しています。

ヘッド部の 0° (直角) 停止位置を調整する場合は傾斜角調整ねじ (0°)、左傾斜 45° の停止位置を調整する場合は傾斜角調整ねじ (左 45°) でそれぞれ調整します。

傾斜設定用ノブをゆるめた状態で、傾斜角調整ねじのロックナットをゆるめ、調整ねじを回して角度を調整してください。

角度調整後はロックナットを締め、調整ねじを固定してください。



⚠ バイス装置の使い方

⚠ 警告

- のこ刃を回転させたまま材料の取付け、取りはずしをしないでください。のこ刃に巻き込まれて飛散するなど、けがの原因になります。
- 材料は、フェンス面へ確実に押し当て、バイス装置でしっかりと固定してください。手や足など体で押さえると、けがの原因になります。また、切断精度が悪くなるばかりでなく、機体を損傷する原因になります。

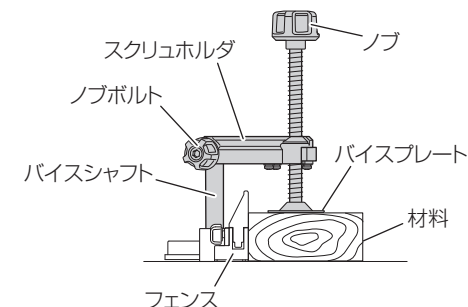
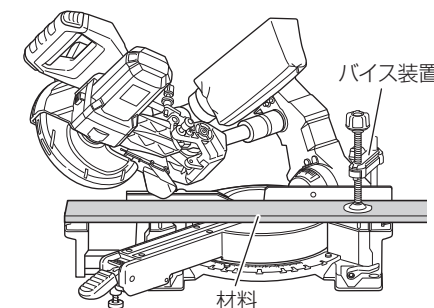
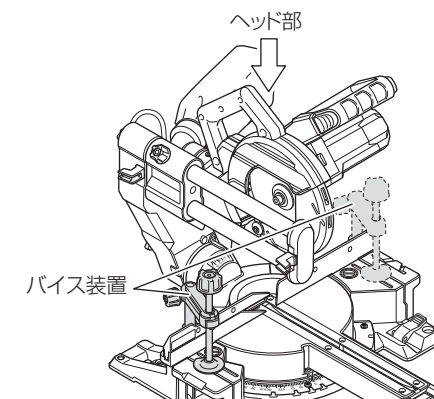
注 傾斜切断時、ヘッド部がバイス装置に接触する可能性がある場合は、傾斜方向と逆側にバイス装置を取付けてください。

1 バイス装置は、左右のフェンスに取付けできます。

注 バイスシャフトは、フェンスの取付穴にさし込み、ノブを回して材料を固定すると、抜けなくなる構造です。

2 ノブボルトをゆるめることで、材料の高さにあわせてスクリュホルダを上下に調節できます。調節後、ノブボルトを締め、スクリュホルダを固定します。

3 材料をフェンス面へ確実に押し当て、ノブを回して固定します。



切断作業の基本

- 墨線の合わせ方
- 切断の基本手順
- スライド切断
- 押し切り切断

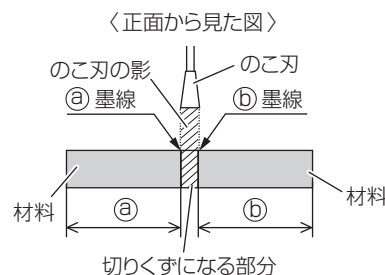
⚠ 警告

- 材料切断時は刃口板とこの刃のすき間より、薄い切り落としはしないでください。この刃に材料が巻き込まれて周囲に飛散するなど、けがの原因になります。
- 切断後はこの刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。切断後、この刃を回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じる、また切り落とし側が薄い場合は、切り落とした材料がこの刃に巻き込まれて周囲に飛散するなど、けがの原因になります。
- ターンテーブル上面から切り落とした材料を取り除いてから、次の段取りをしてください。
- 1回の切断または切込みが終わるごとに、スイッチを切ってこの刃の停止を確認し、ハンドルを持ち上げ、元の位置に戻してください。
- 連続で切断作業をすると、モーターが過負荷状態になります。モーター部を手で触れて熱く感じるような場合は、10分程度作業を中止してください。
- 事故を防止するため、作業後はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 切込むとき、ハンドルに強く力を入れても早く切れません。力を入れすぎるとモーターに無理をかけ故障の原因になります。また能率も悪くなります。

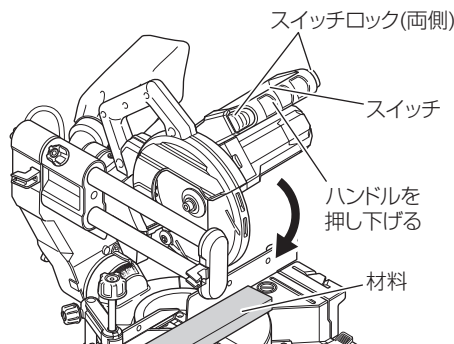
墨線の合わせ方

材料を切断する際、この刃の厚み分が切りくずになるので、①の長さが必要な場合、墨線をこの刃の左側面に合わせてください。②の長さが必要な場合は右側面に合わせてください。



切断の基本手順

- 1 スwitchを入れたこの刃の回転が安定してから、ハンドルを静かに押し下げて材料に近づけます。
- 2 この刃が材料に接したらハンドルを徐々に押し下げて切込みを深くし、切断します。
- 3 切断が終わったらスイッチを切り、この刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げ、元の位置に戻します。



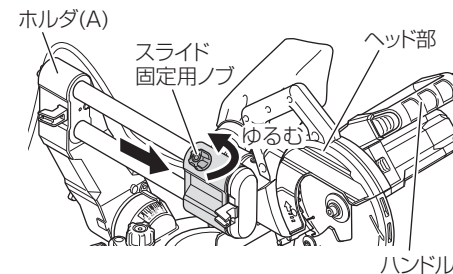
● 幅広材の切断 (スライド切断)

⚠ 警告

切断中は角度ロックハンドル、角度ストップレバーに手を触れないでください。また、回転しているこの刃に手や顔などを近づけないでください。回転しているこの刃に手が近づき、けがの原因になります。

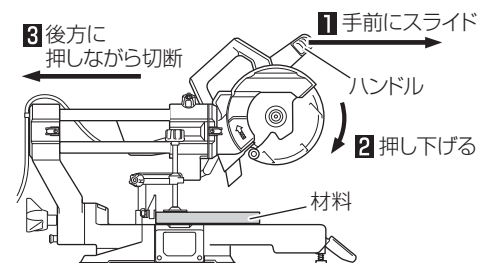
- 注**
- ハンドルを強く押し下げたり、左右方向に力を加えると、この刃が振れ、押し切り切断からスライド切断に移るさかい目にソーマーク (この刃の切断すじ) がでたり、切断精度が悪くなります。ハンドルは静かに押し下げてください。
 - スライド切断の際は、途中で止めないで静かに後方に押してください。途中で止めると、切断面にソーマーク (この刃の切断すじ) が付きます。

- 1 スライド固定用ノブをゆるめ、ハンドルを持ち、手前にヘッド部をスライドさせます。



- 2 ハンドルを押し下げて、押し切り切断をし、この刃を下限位置まで下げます。

- 3 後方に押しスライドさせて、切断します。



● 小物材の切断 (押し切り切断)

ホルダ (A) にヘッド部を突き当て、スライド固定用ノブを締めます。ハンドルを押し下げ、切断します。この押し切り切断は、高さ 50 mm 角までの材料が切断できます。

傾斜切断

●左傾斜0～47°、右傾斜0～2°の任意の角度で切断

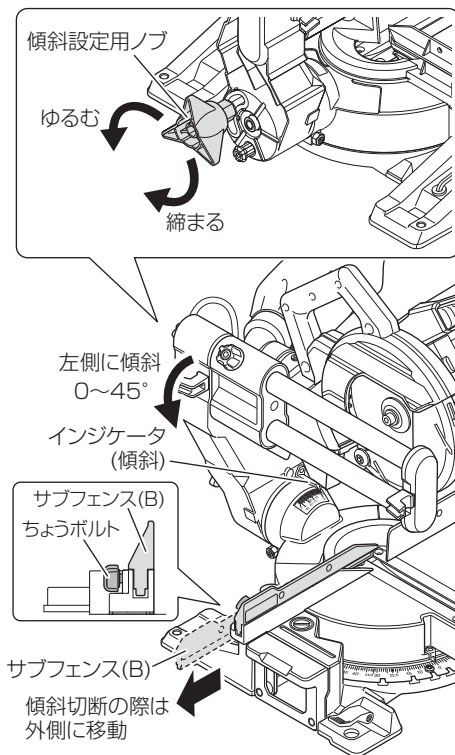
警告

- 傾斜設定用ノブをゆるめるときは、倒れないようにヘッド部を支えてください。
- 傾斜角度が大きくなると、のこ刃やヘッド部がサブフェンス (B) やバイス装置に接触します。
傾斜角度を変更した後は、スイッチを入れる前にヘッド部をスライドさせ、接触しないことを確認してください。接触する場合は、接触しない位置に調整してください。
- 材料を左側で固定し、左傾斜切断をした場合、あるいは右側で固定し、右傾斜切断をした場合、切り落とし側の材料がのこ刃の上側に載る状態になります。
のこ刃が完全に停止してから、ハンドルを持ち上げ、元の位置に戻してください。
のこ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると、切り落とし側の材料がのこ刃に巻き込まれ周囲に飛散することがあり、けがの原因になります。
- 傾斜切断を途中で中断したときは、最初の切断位置までヘッド部を戻し（スライドさせ）てから、再度切断を始めてください。
中断した位置から切断を始めると、切断したのこ刃溝に保護カバーが入りこんで変形し、のこ刃に接触する恐れがあり、けがの原因になります。

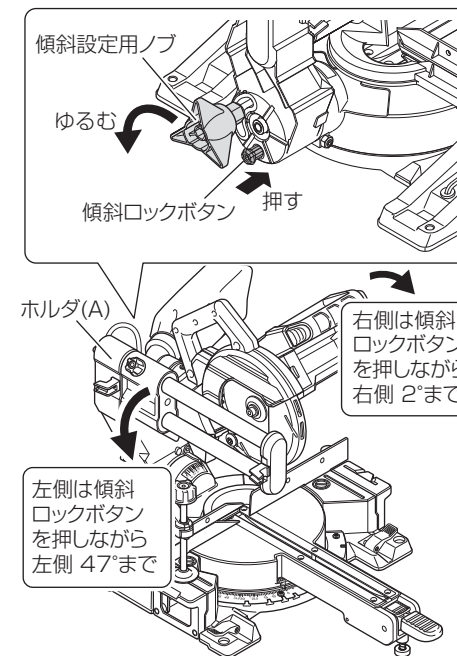
1 傾斜設定用ノブをゆるめ、ヘッド部を左側に傾斜させます。

2 インジケータ (傾斜) を希望の目盛りに合わせて、傾斜設定用ノブを締めてホルダ (A) を固定します。

3 切断作業は、P.21～22「切断作業の基本」を参照してください。



注 傾斜設定用ノブをゆるめて調整できる傾斜角度は、左傾斜0～45°までです。
左傾斜45～47°および右傾斜0～2°の範囲は、傾斜設定用ノブをゆるめた状態で傾斜ロックボタンを押して、調整してください。調整後は傾斜設定用ノブを締めて、ホルダ (A) を固定してください。



角度切断

● ターンテーブルの回転で、左右 50° までの角度切断

警告

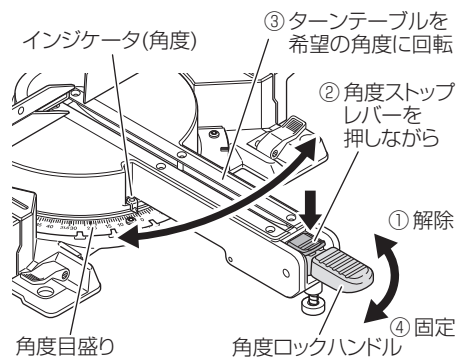
- ターンテーブルの角度が大きくなると、のこ刃やヘッド部がバイス装置に接触します。角度を変更した後は、スイッチを入れる前にヘッド部をスライドさせ接触しないことを確認してください。接触する場合は、接触しない位置に調整してください。
- ターンテーブルの角度調整後は、角度ロックハンドルで固定してください。作業中ターンテーブルが動き、けがの原因になります。

ターンテーブルを回転させると左右 50° までの角度切断ができます。

ターンテーブルの角度調整は、角度ロックハンドルを解除し、角度ストップレバーを押しながら回すことで調整ができます。インジケータ(角度)と角度目盛りで、任意の角度に調整します。

また、左右 15°、22.5°、31.6°、45° にストッパが付いています。この角度に調整する場合は、ターンテーブルの回転中に角度ストップレバーから指をはなすとそれぞれの角度で停止します。

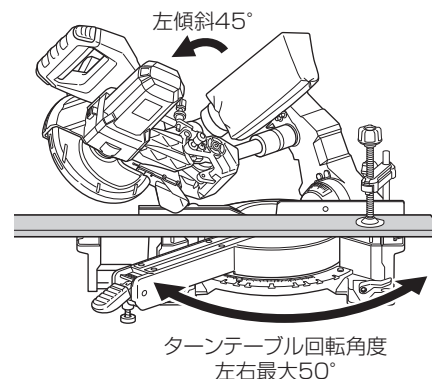
角度調整後は、角度ロックハンドルでターンテーブルを確実に固定してください。



複合(角度+傾斜)切断

● 複合切断により配付けだる木加工ができます

注 この刃が傾斜 45° の場合、ターンテーブル回転角度は最大 50° です。



最大切断寸法 (最大高さ × 最大幅) (mm)

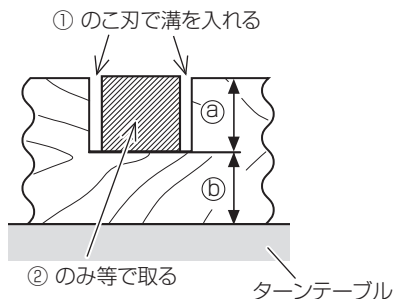
ターンテーブル0°(直角)	のこ刃左45°傾斜
	 38 × 305 40 × 285 (当て板幅20) ※
ターンテーブル左右45°	 38 × 213 40 × 195 (当て板幅20) ※

※印の最大切断寸法の場合、ヘッド部底面と材料が接触する恐れがありますので、十分注意し作業をしてください。

●溝を入れる作業

ターンテーブル上面から、のこ刃までの距離⑥にのこ刃の下限位置を調整すると、のこ刃の深さ③で止まるような溝加工ができます。

のこ刃で溝を加工したのち、斜線部は、のみ等で取ってください。

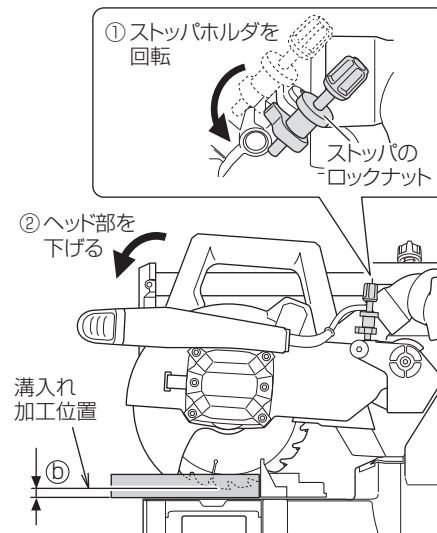


のこ刃の下限位置の調整

ストップホルダを横に回転させます。

ヘッド部を下げ、ストップがヒンジに当たる位置でのこ刃の下限位置が⑥になるよう、ストップの高さを調整します。

調整後はストップのロックナットを締め、ストップの高さを固定してください。



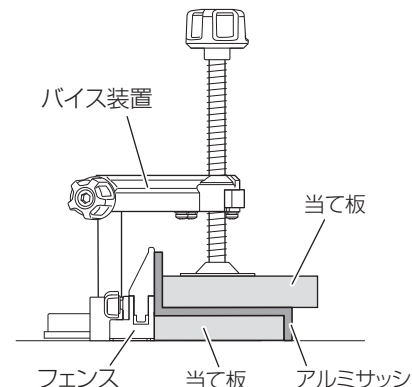
●アルミサッシなどの変形しやすい材料を切断する

⚠警告

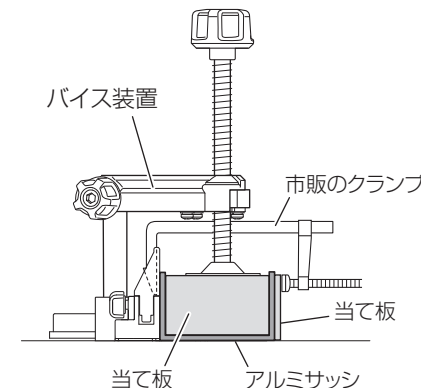
- 材料はバイス装置で確実に固定してください。
材料の固定が不十分ですと材料が変形してのこ刃が挟み込まれ、材料が飛散し、けがの原因になります。
- 切削油（スピンドル油）を使用するときは、周囲に火気のないことを確認してください。

- 注**
- アルミサッシ切断時は刃物の刃先に切削油（スピンドル油）を塗布して切断すると、無理がなくきれいな仕上げ面が得られます。
 - 木材加工後にアルミサッシを切断するときは、ダストバッグ内の切りくずを捨ててから作業してください。
 - アルミサッシ用チップソーを使用してください。

変形しやすい材料を切断する場合は、右図で示すように必ず当て板を使用し、材料の切断部の近くまで挟んで、バイス装置で固定してください。



さらにU形状の材料の場合は、横方向の固定をします。右図で示すように当て板を使用し、材料の切断部の近くまで挟んでバイス装置と市販のクランプを併用して固定してください。



⚠注意

アルミサッシなどの板厚の薄い材料は、当て板を使用せずバイス装置で締付けると変形し、モーターに無理な負担がかかります。
また、切断時材料が不意にバタつき、のこ刃に衝撃的な力が加わることがあります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●のこ刃(チップソー)の点検

切れ味が悪いのこ刃(チップソー)を使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。

早めに新品と交換してください。

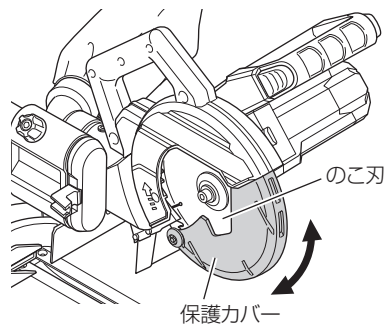
⚠警告

切れ味の悪くなったのこ刃は使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●保護カバーの点検と掃除

保護カバーは、いつも円滑に動くように付着した切りくず等を掃除してください。

注 保護カバーが円滑に動かない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



●清掃する

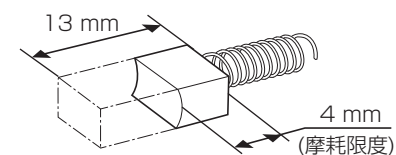
機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。モーター部は水や油でぬらさないようにしてください。

●カーボンブラシの点検と交換

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になるので、長さが摩耗限度(4 mm ぐらい)になった際は、新品と交換してください。

また、カーボンブラシは、ごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で円滑に動くようにしてください。



注 ●カーボンブラシを交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

●新品交換後の運転でカーボンブラシから臭いがでますが、故障ではありません。5 分間ほど無負荷運転をすることによって、臭いは少なくなります。

1 モーター部のカバーを、付属の六角棒スパナではずします。

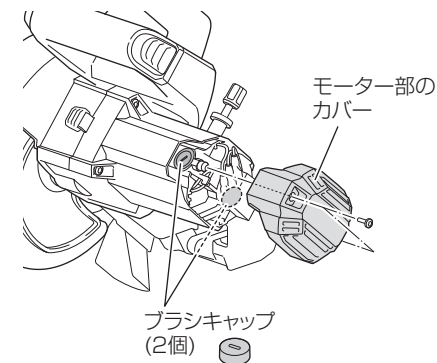
2 マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。

3 カーボンブラシを取り出します。

4 新しいカーボンブラシを、ブラシホルダの角穴に合わせて指で押し込みます。

5 ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

6 モーター部のカバーを取付けます。

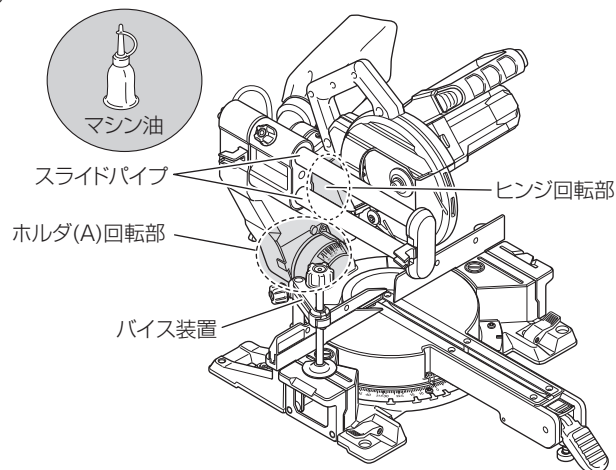


●注油する

本機を長持ちさせるため月に一度、注油点に注油してください。
(油はマシン油が適当です。)

【注油点】

- ヒンジの回転部
- バイス装置のねじ部
- ホルダ (A) の回転部
- スライドパイプ



●モーターの取扱いについて

モーター (内蔵) (P.7「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をモーター後部の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の運搬

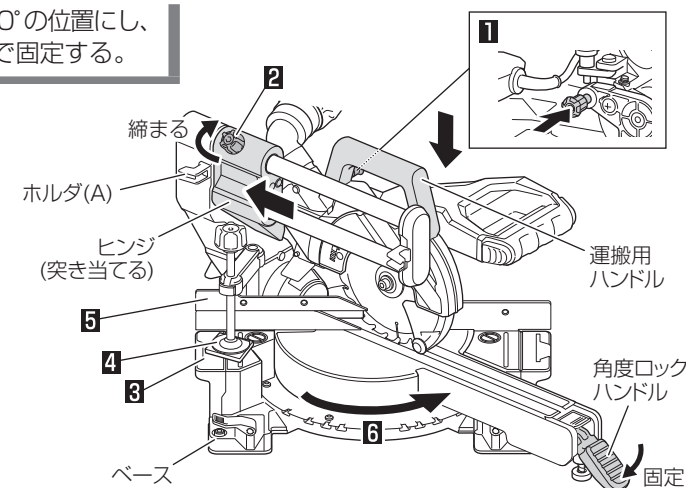
運搬前に以下の準備をしてください。

- 1 ヘッド部を押し下げ、固定ピンで固定する。
- 2 ヘッド部をホルダ (A) に突き当て、スライド固定用ノブを締めて固定する。
- 3 拡張テーブルを収納し、拡張テーブルロックレバーで固定する。
- 4 バイス装置は取りはずすか、木片を挟んで固定する。
- 5 サブフェンス (B) は取りはずすか、固定する。
- 6 ターンテーブルを右50°の位置にし、角度ロックハンドルで固定する。

⚠警告

機体を運搬するときは、各部の固定状態を確認してください。
運搬中に動くと、けがの原因になります。

注 運搬時は、運搬用ハンドルとベース部をしっかり持ってください。



●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

メ モ

メ モ